

ガバナー月信 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

<http://www.rid2550.com/>

Governor's Monthly Letter

2014-2015

2月号

Vol.

8



ハンターマウンテン塩原スキー場 撮影：長嶋 一郎



国際ロータリー第2550地区

ガバナー 長嶋 一郎

明るく楽しいロータリーを創りましょう

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1	米山奨学生終了式歓送会	6
ガバナー公式訪問だより	2	青少年奉仕委員会	7
新入会員紹介	3	12月会員増強・出席報告	8
物故会員	3	ハイライト米山178号	8
IM報告	4	コーディネーターニュース3月号	9
ロータリー国際囲碁大会のご案内	5	文庫通信	10



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1. 真実かどうか？
 - 2. みんなに公平か？
 - 3. 好意と友情を深めるか？
 - 4. みんなのためになるかどうか？
-

ガバナーメッセージ



「国際理解月間について」

2014-15年度
国際ロータリー2550地区ガバナー

長 嶋 一 郎

ロータリアンの皆様、2月は国際理解月間です。国際ロータリーの一員である私たちが世界を理解する事は当然であります、私達日本のロータリアンには決して簡単な事ではないように思います。「世界は自分達と違っている。」と日本人は考えますが、実は「日本が世界と大きく違っている。」事に多くの日本人は気付いていません。日本は世界の中では特殊な国であり、考え方、物事の進め方は日本人独特のものだと思います。そして世界とは違った日本の中で、私たちは特に問題なくすごしています。

私は国際協議会や、国際大会で世界のロータリアンが活発に話し合うのを見てきました。日本人でその話に加わっていける方はやはり決して多くありません。世界の共通語である英語で自由に話せる方が少ないのです。「ロータリーと英語は特に関係ない、ロータリーをしっかりと理解していればいい」先輩方はそう言われます。しかし言葉がわからなければ理解するのはやはり大変です。日本語だけで理解しようとしたら他の国の方の何倍も努力しなければなりません。（そのような努力をされてきた先輩方も沢山いらっしゃいます。先輩方には敬意を払います。）

私達日本人は英語を話さなくとも良い社会にいますので、ロータリアンの皆様がすべて英語がわかる必要はありません。しかし、ロータリーの指導者になる方は、やはり英語

がわかったほうがよいと私は素直に感じています。毎年RI会長さんのテーマが発表され、日本語に訳したテーマが発表されるたびに私は「これ、ちょっと違うんじゃない」と思っていました。「Light Up Rotary」は「ロータリーに輝きを」ではないと思っているのは私だけではないでしょう。（どう違うかといわれてもうまく説明できませんが、やはりニュアンスが異なっていると思います。）「ロータリーの綱領」が「ロータリーの目的」に変わったことも日本の方は問題にされています。「Object of Rotary」で理解すれば済むことです。綱領では固すぎますし、目的では全然違います。日本語にそれに合った良い言葉がないというだけです。以外に思われるかともいますが、英語の文章は英語で理解しなければわかりません。訳した文章では内容がかなり異なってしまいます。日本のロータリアンは良くも悪くも日本の中で大変優れた活動をしています。それで十分とも言えますが、国際ロータリーを十分に理解されているか、世界の人々を十分に理解されているかもう一度考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

小山ロータリークラブ

日 時：2014年11月6日（木）

会 場：小山グランドホテル



会 長：岩崎 晴一

幹 事：梶原 時雄

2014年11月6日（木）11時20分、長嶋一郎ガバナー（随行中井本秀様・大田原RC）第5グループ・ガバナー補佐石川陽二様（随行福地博行様・小山北RC）一行が、会場の小山グランドホテル到着。11時30分から会長・幹事懇談会が開かれ、ガバナーへの事前報告に基づいて岩崎晴一会長が説明、話し合いが和やかに開催されました。出席は（会長・幹事・会長エレクト・幹事エレクト）の方です。12時30分～13時30分例会（歓迎式）が執り行われ、岩崎会長のお客様のご紹介、本日のメインイベント・ガバナー長嶋一郎様の卓話を拝聴、「日常の仕事すべてロータリー活動である」ロータリアンは、良い仕事をしてみんな集って地域のため、世界のために良い奉仕活動しそれを続けていけば「Light up Rotary」になる、ロータリーは「継続と変化」が重要である事が印象に残る卓話でございました。

長嶋一郎ガバナーの卓話終了後、引き続きクラブ協議会を開催。岩崎晴一会長が「みんなで実践しよう“ロータリーに輝きを”」のクラブ方針及び活動の経過報告を始め、各委員会の委員長の実践と行動の報告が行われました。

- ・クラブ奉仕委員会 坂井秀伸委員長 「2014～15年度のクラブテーマ、プログラム委員会・出席委員会・親睦家族ニコニコBOX委員会のメンバーと密に連携を取りながら、活力溢れる例会に務める。
- ・職業奉仕委員会 小林甚一郎委員長 「ロータリアンがそれぞれの職業を通じて高い道徳的水準を保つことを奨励し、職業奉仕月間にふさわしい卓話を実施。特に事業や職業上の行動規範に加えて

倫理的な行動規範に焦点を当てる。

- ・地域社会国際奉仕委員会 館野敏委員長 「障害者福祉運動会の協賛、会員参加支援、地域社会行事の支援、渡良瀬遊水地のラムサール条約湿地登録の周知活動の支援、小山ロータリークラブにとって意義ある奉仕活動を行いたい。
- ・新世代奉仕委員会 野崎一彦委員長 「青少年の未来が心豊かで希望に満ちたものになるよう活動を進める。ライラへの参加支援、青少年の活動をしている事業への支援。
- ・会員増強職業分類委員会 田川宗定委員長 「クラブ活性化と会員増強の重要性を広報し委員会活動を活性化させ会員の退会防止に努め増強に努力。会員増強月間には卓話を通じ会員増強の重要性をPRし、クラブ奉仕委員会と共に協力し増強に努める。
- ・ロータリー財団委員会 塚原勉委員長 「会長方針“みんなで実践しよう・ロータリーに輝きを”を基に委員会活動を展開していく。

RI-財団は今年度5つの具体的目標を発表。①ポリオを撲滅達成②継続的な寄付を通じ、独自慈善事業を支援③持続可能な教育的、人道的プロジェクトに参加④RI-平和センター・プログラムの推進と世界理解、親善、平和を育む⑤RI-財団の未来健全性を強調。以上を各委員長より活動報告など説明され、長嶋一郎ガバナーより「しっかりしたクラブの活動が進められている、継続も重要です、新しい変化も必要です、クラブが更に元気になるのではないかと」統一コメントを頂き、公式訪問を終了しました。

真岡西ロータリークラブ

日 時：2014年11月13日（木）

会 場：フォーシーズン静風



会 長：谷中 洋子

幹 事：大越 善彦

11月13日（木）長嶋一郎ガバナーと岡本俊夫ガバナー補佐を例会場のフォーシーズン静風へお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。11：30より会長・幹事をはじめ、親睦委員長・プログラム委員長・財団委員長らを交えて懇談会が行われ、クラブの運営状況報告と当クラブの注力している親睦、拡大、財団の事業について語らい、和やかな中にも適切な御助言を戴き大変有意義な時間を過ごしました。

記念撮影を挟み、12：30から例会が行われました。この日は第1400回例会にあたり、大変記念に残るものとなりました。卓話では長嶋ガバナーより「ガバナーの役割とは各クラブの後援役であり何かを強いる事ではなく、

各クラブの特色を活かしていく事であります。皆さんのクラブがより一層明るく楽しい活気あるものであります様、応援や相談に応じます。また、これからも精いっぱい努力させていただきます」と、暖かく力強いお話を頂きました。

例会後はクラブ協議会が行われ、五大委員長より今年度の活動方針と進捗状況を発表し、長嶋ガバナーよりご指導を頂きました。会員からの質問も多数上がりその懇切丁寧な回答に笑顔もこぼれ、終始和やかなうちに公式訪問が終了いたしました。頂きましたご指導、ご鞭撻を励みにこれからも楽しいクラブ運営に邁進いたします。

ガバナー公式訪問だより

日光ロータリークラブ 今市ロータリークラブ 今市きぬロータリークラブ

日 時：2014年10月2日（木）
会 場：ブライダルパレスあさの

去る10月2日、長嶋一郎ガバナーと上原昭郎ガバナー補佐をお迎えしてのガバナー公式訪問が、ブライダルパレスあさのにおいて開催されました。

まず懇談会においては現況報告書について適切なアドバイスをいただいたほか、沢山のご助言を賜うことができました。今後のクラブ運営に活かして参ります。

例会での長嶋ガバナーの卓話では、RI黄会長のお話、そして長嶋ガバナーの本年度の地区方針と目標について詳しくご説明をいただき、ロータリアン一人一人が輝くことが大切であるとのメッセージに深く感動致しました。長嶋ガバナーのこれまでのロータリー活動や、お医者様としての様々な経験談を拝聴し、その温かいお人柄に触れ、改めて本年度のロータリー活動にまい進する勇気をいただきました。

クラブ協議会では、会員増強及び継続事業について、手塚、五月女各委員長から発表があり、それぞれに適切な講評をいただき、公式訪問は無事に終了致しました。今回の長嶋一郎ガバナー公式訪問で得られた新たな気づきを、今後のクラブ運営の糧にして活動して参ります。大変有意義な時間をいただき心から御礼申し上げます。



日光ロータリークラブ
会 長：岸野 房子
幹 事：山田 功



今市ロータリークラブ
会 長：狐塚 秀幸
幹 事：片山 貴之



今市きぬロータリークラブ
会 長：湯浅 有二
幹 事：潮田キヌ子

月信 Vol.6 にて掲載しましたガバナー公式訪問だよりで、今市ロータリークラブの会長・幹事の名前に誤りがありましたので、再度掲載いたします。
ここに訂正とお詫び申し上げます。

新入会員紹介



こ やなぎ ひろし
小 柳 洋
今市 R C
小柳洋事務所
土地家屋調査士、行政書士
平成26年12月3日入会

微力ながらがんばって参ります。よろしくお願いいたします。



お ばた あき ひさ
小 畑 明 久
小城北 R C
（有）オバタ
代表取締役
平成27年1月7日入会

若輩者ではございますがご指導を賜り人の和を大切に勉強させて頂きたいと思ひます。



く が くみ ひと
久 我 臣 仁
宇都宮さつき R C
行政書士久我法務事務所
代表行政書士
平成27年2月1日入会

企業法務専門の栃木県唯一の博士号行政書士です。若輩ですがお願い致します。

物故会員 謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。



物 故
平成27年1月21日
享年88歳
か め だ よ し じ
亀 田 好 二 様
佐野東 R C

- ◆ロータリー歴
佐野東ロータリークラブ チャーターメンバー
1985～1986年度 会長
1986～1987年度 米山奨学委員
- ◆財団、米山記念奨学会などの寄付歴
マルチボールハリスフェロー 3回
米山功労者 1回

第8・9グループ合同IM開催報告

2014年11月8日（土）
第9グループ ガバナー補佐 田澤 秀文

第1部 新会員研修会 11:00~12:00

テーマ「大切なロータリー情報」

講師 RI第2550地区 ガバナーエレクト 中谷研一様

研修の切り口は、パワーポイント等で一方的に相手方に伝えるのではなく、双方意見交換をしながら、又、グループ分けをして、テーマについて意見交換をし、結論を集約していく手法と同時に、グループ分けをすることにより、結果として、グループ内の融和と友愛を深めるという果実を得ることが出来る両得の手法で研修を進めました。

テーマは「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」の三つを掲げ、具体的には『ロータリーって何？と聞かれたら？』『新会員を勧誘するときロータリークラブをどのように紹介しますか？』等について研修しました。

第2部 本会議 13:00~15:30

リーダー 第8G 関谷ガバナー補佐 第9G 田澤ガバナー補佐

定例のIM議事進行に加え、第8・第9グループの各9クラブ会長より、各クラブの現況及び活動内容についての発表がありました。

第3部 記念講演会 15:30~17:00

テーマ「地域医療の過去・現在そして未来」

講師 足利市医師会会長 関 隆郎先生

高血圧・糖尿病・脂質異常症・心疾患等の生活習慣病を中心に、慢性期や終末期の在宅医療、在宅での看取り等、医療全般にわたり講演されました。

第4部 懇親会 17:00~19:00

ジャズバンド「アーティストック・ジャズ・ワークショップ」のバックミュージックを背に、約180余の会員が大いに場を盛り上げ、盛大な友愛の輪を拡げることが出来ました。



今年度のIMについては、昨年同様、第8Gと第9Gが合同で主催しました。ホストクラブは、足利東ロータリークラブ、葛生ロータリークラブが務め、実行委員会（第8G 6名、第9G 6名 計12名）を立ち上げ、開催にあたり、2回実行委員会を開催しました。又、随時、関谷ガバナー補佐、田澤ガバナー補佐間で常に連携を取り合い対処しました。

従来は第8Gと第9Gとは同じグループ内でありましたが、昨今は別グループで活動している経緯もあり、今回の合同IM開催により、足利東クラブと葛生クラブの親交はもとより、第8G、第9G間のフェロウシップの場を広げた意義は大変大きいと思われます。

地区内主要行事

3月15日（日）	第4グループIM	フォーシーズン静風
3月下旬	インターアクト海外研修	台湾・台北～台南
3月	地域社会奉仕委員会	ガバナー事務所
3月28日（土） ～29日（日）	2015-16会長エレクト研修セミナー（PETS）	ホテルニューイタヤ
4月	派遣学生オリエンテーション	
4月18日（土）	第7グループIM	古峰ヶ原
4月19日（日）	2015-16 地区研修・協議会	宇都宮グランドホテル
4月	米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーション	
4月25日（土） ～26日（日）	足尾植樹奉仕活動	足尾

お知らせ

例会時間変更 宇都宮さつきRC（2月より）

変更前 18:30~19:30 → 変更後 19:00~20:00

* 例会場所（コンセーレ） 曜日（月曜日）の変更はございません。

I M報告

第2グループ I M開催報告

2014年11月18日(火)

第2グループ ガバナー補佐 伊藤 幹夫



全国的な人口減少時代を迎え、我が栃木県でも20年後には6つの市町が消滅可能都市と言われています。これを少しでも防ぐには、若者を取り入れる事が重要なことです。

本年度、長嶋一郎ガバナーの地区方針の一つである「若者を育てましょう」はこのような時代の要求からも大きな意味合いがあると思います。

そのような背景からも私たち第2グループはI・Mのテーマを「若者を育てましょう」とし、各クラブの青少年に携わる事業の発表ならびに意見交換、また記念事業として、矢板市在住のFIFA国際サッカー協会の公式副審の相楽亨様の講演をいただき、2014サッカーワールドカップブラジル大会の審判として出場

されたお話を、サッカーを通しての青少年育成のお話をいただきました。

非常に興味深いお話や、なるほどなと思うことなどもお聞きする事が出来、過ぎゆく時間が非常に短く感じました。

第2グループ内の各クラブの皆様、また長嶋ガバナーには大変お世話になり感謝にたえません。

人口減少問題が叫ばれる中、20年後には我が栃木県でも6市町が消滅可能都市にあげられています。これを少しでも防ぐには、若者をいかに取り入れるかに尽きます。

本年度、長嶋ガバナーの地区方針の一つである「若者を育てましょう。」はクラブの活性化、まち、県、国を支える次世代を担う子供たち、青少年を育成するという深い意味合いがあると思います。



日韓台対抗戦の「第16回ロータリー国際囲碁大会」のご案内

拝啓 ようやく立春を迎え、貴クラブの皆様方、ご清栄の事とお慶び申し上げます。

私ども、囲碁好きのロータリアンで結成するロータリー囲碁同好会(GPFR)は2000年3月、日本、韓国、台湾に支部を置き、毎年春に基盤を通じて親睦と国際交流を図る目的で3ヶ国持ち回りの国際囲碁大会を開催しております。今回は12年ぶりに東京で開催し、初めて米国からも参加の予定です。下記の要領で「第16回ロータリー国際囲碁大会」を開きますので、貴クラブ内の囲碁を愛好する会員皆様に大会参加を呼びかけて頂きますよう、ご案内をお願い申し上げます。

大会は上級者(五段以上)、中級者(三段~四段)、初級者(二段以下)の3クラス制の早碁戦です。上級者クラス優勝者は1年間「ロータリー囲碁世界チャンピオン」の称号を名乗ることが許されます。GPFRは日本発進第1号のRI認証の国際親睦グループで、日本支部では毎年秋に全国大会も開催しています。GPFR活動については、上記のホームページをご覧ください。大会参加は国際奉仕活動としてメークアップになります。定員100名。3月16日(月)締め切りです。なお、会場近くのアルカディア市ヶ谷で表彰式と懇親会を行い、宿泊も割引で受け付けます。

<記>

日 時 2015年5月16日(土) 08:30 登録受付 09:00 点鐘開会式 18:00 表彰式と懇親会
会 場 東京・市ヶ谷の日本棋院2階大ホール 対局終了後にアルカディア市ヶ谷に移動します
主 催 ロータリー囲碁同好会 協 催 第2580・2750地区 ホスト 東京RC
登録料 17000円(賞品代、プロ棋士多面碁の謝礼、昼食、懇親会費等含む)

大会参加のお申し込みは、氏名、地区、クラブ名、年齢(女性は不要)、級段位を明記して、所属ロータリークラブを通じて、上記のGPFR日本支部宛にFAX(03-3452-1652)でご連絡下さい。参加登録および宿泊は定員になり次第締め切りますので、お早めにお申込み下さい。日本支部より参加要領等をFAXで返信いたしますお問い合わせ等も上記FAXにてお願い致します。ご家族のご参加も歓迎します。

GPFR日本支部幹事 太田清文(東京RC)

2014学年度 米山奨学生終了式歓送会

第2550地区ロータリー米山記念奨学会委員会委員長 恩田 光憲

2014学年度の、米山奨学生の終了式が2月15日(日)宇都宮市ホテルニューイタヤで開催されました。12名の終了生と各カウンセラー全員が出席しました。長嶋ガバナー挨拶、板橋米山奨学会名誉理事長の祝辞の後、長嶋ガバナーから終了生に終了証の授与、カウンセラーに感謝状が贈られました。モンゴル出身の自治医科大学大学院のエンフトウツユン・ボロルマーさんから終了生代表の挨拶がありました。終了式の後、歓送会が開催されました。終了生、カウンセラー全員からスピーチを頂きましたが、終了生からは、添付したボロルマーさんの代表挨拶と同じように、ロータリーへの感謝の気持ちと、米山奨学生として経験したことを将来に生かしたいとのコメントがあり、ロータリアン一同、米山の意義を感じました。皆これからもロータリー活動に注目し、学友会活動にも積極的に参加して下さることを約束してくれました。

板橋様は6年間米山奨学会の理事長をお勤めになり、昨年勇退され名誉理事長となりました。地区として大変名誉なことでありまして、地区委員会もその間多大なるご指導を頂いており、この式典に合わせ記念品を贈らせていただきました。

今後とも、米山へのご協力を宜しくお願い申し上げます。



自治医科大学大学院 エンフトウツユン ボロルマー（モンゴル）

奨学生代表としてご挨拶のチャンスを与えてくださって有難うございます。

皆様のお陰で夢をかなえる事が出来て本当にうれしいです。4年前に日本に来てすべては順調ではありませんでした。大学で勉強する事がとても遣り甲斐があって楽しくしていましたが途中で経済的に困った事が起こりました。そのとき、米山奨学会のお話を聞いてお世話になる事になりました。

米山奨学生の2年間は、地区大会に参加して、学友主催の募金活動して、学友会総会・研修旅行にも参加する事ができていろいろな良い切っ掛け作りになりました。

毎月ロータリークラブの例会に参加するとき、ロータリアンたちの社会をよりよくするための活動について聞いたり、ロータリアンたちの礼儀正しい態度を見たりしてきました。ロータリークラブでお世話になったこのすべての2年間は、私をロータリアンたちと同じようになって、人助け、世界をより良くするためのインスピレーションを与えてくれました。他の奨学生のみなさんも同じだったと信じています。

今日は、皆様の有難いサポートのお陰で私たちのすべてが自分の目標を達成することが出来ました。ロータリアンたちの言動は私たちを日本での生活になじませ精神的に大きく成長させてくれました。私たちは日本で勉強したたくさんの事を自分たちの母国に持ち帰り、ロータリアンを見習って母国のためになる事に取り組み、更に日本との架け橋になりたいと思います。米山奨学会の皆さんには心から感謝申し上げます。これからも私達の後輩をどうぞよろしくお願いいたします。皆様有難うございました。



青少年奉仕委員会

みんなで恵方巻きを食べようプロジェクト

青少年奉仕委員長 白相 淑久
 青少年交換委員長 村上 正子
 インターアクト委員長 熊本 勇治
 宇都宮南ロータリークラブ会長 小塚 輝夫

宇都宮南高等学校南風インターアクトクラブ（和気明那会長）は青少年奉仕活動の一環として宇都宮南ロータリークラブ（小塚輝夫会長）メンバーと共に11日、同校にて恵方巻きパーティーを開催しました。

南風インターアクトより相談を受けた宇都宮南ロータリークラブインターアクト委員会（関享一委員長）の呼びかけに、長嶋ガバナーの青少年を育てようという方針のもと、第2550地区青少年奉仕委員会（白相淑久委員長）同地区青少年交換委員会（村上正子委員長）同地区インターアクト委員会（熊本勇治委員長）のクロスプロモーション活動として賛同し、青少年交換学生（Exchange Student）であるVanessa Berthold（アメリカ・宇都宮RC）Mireille Copin B（フランス・足利わたらせRC）の二人の交換学生も参加し、総勢30名にて日本の文化を再確認しました。

第2550地区青少年奉仕の各委員長と宇都宮南RCロータリアンが米、海苔、卵焼きや干びょうなどの材料を持ち込み、南風インターアクトクラブの皆様が準備を行いました。各ロータリアン、交換学生は、インターアクト指導のもと、慣れない手つきで恵方巻き作りに挑戦。不恰好ながらも作りあげた恵方巻きを全員一斉に西南西を向き、無病息災を祈りながらセオリー通り無言にて食しました。



このプログラムについて宇都宮南ロータリークラブインターアクトクラブ委員長関享一は、「宇都宮南高校南風インターアクトクラブが設立されて約2年、南風クラブは国際社会で活躍しながら地域にも貢献できるリーダーに育ってきている。各方面にて活躍を期待している」と発言。



同校インターアクト南風クラブ会長である和気明那は、「国際の舞台にあがれるチャンス을いただきありがとうございます。日本の文化を海外に発信できるよう今後も日本の良き文化と各国の語学を学んでいきたい。来年は地域のおじいちゃん、おばあちゃんにも声をかけてみんなで食べたいと思います」と大きな声で挨拶をし、宇都宮南高校の校長上野修一は「われわれは国際色豊かで地域に尽くす人材が伸び伸びと育つ学舎(まなびや)を創っていきたくと考えています。このプログラムが継続事業になるよう工夫を凝らして地域に根付く事業にしていきたい。」と県内インターナショナルスクールの代表校として挨拶をされました。

この活動は、下野新聞にも取り上げられました。これからも継続事業として発展をしていく一方、しもつかれなどの栃木独自の文化も勉強していきます。各インターアクトクラブにも声を掛けてこの活動を広め、仲間を増やしていきたいと考えております。

（文責者 熊本勇治）



第 2550 地区 12 月会員増強・出席報告

分区	クラブ名	例 回数	12月出席率		会 員 数							
			今月	平均	7月 1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性 会 員
第1グループ	大 田 原	4	85.33	86.46	31	32	0	2	4	3	1	1
	黒 磯	4	88.45	90.44	39	40	0	0	1	0	1	2
	西 那 須 野	4	96.53	93.13	36	39	1	0	3	0	3	0
	黒 羽	4	96.43	96.81	14	14	0	0	0	0	0	0
	那 須	3	70.83	84.31	10	10	0	0	0	0	0	2
	塩 原	4	86.10	85.22	9	9	0	0	0	0	0	3
	大田原中央	4	60.00	68.67	25	25	0	0	0	0	0	2
第2グループ	烏 山	3	87.17	93.02	11	13	0	0	2	0	2	1
	氏 家	3	85.00	80.54	25	22	0	2	1	4	-3	0
	矢 板	3	79.88	72.98	19	15	0	2	0	4	-4	3
	馬 頭 小 川	4	87.50	88.68	20	19	0	1	0	1	-1	0
第3グループA	高 根 沢	4	73.60	80.77	16	17	0	0	1	0	1	0
	宇 都 宮	3	63.90	68.28	97	100	0	1	6	3	3	0
	宇 都 宮 西	3	86.90	80.58	73	71	0	2	2	4	-2	0
	宇 都 宮 北	4	82.43	83.30	47	48	0	0	1	0	1	0
	宇 都 宮 90	4	91.18	90.31	42	44	0	0	2	0	2	3
第3グループB	宇 都 宮 陽 北	3	82.55	80.43	35	36	0	0	1	0	1	3
	宇 都 宮 東	3	94.01	94.59	106	104	0	2	1	3	-2	0
	宇 都 宮 南	4	87.11	82.76	47	46	0	0	0	1	-1	0
	宇 都 宮 陽 東	4	79.75	78.02	41	42	0	0	1	0	1	0
	宇 都 宮 陽 南	4	81.06	76.87	15	21	1	0	6	0	6	4
第4グループ	宇 都 宮 さ つ き	4	83.33	86.18	21	21	0	0	0	0	0	2
	真 岡	3	80.00	82.54	52	53	0	0	1	0	1	0
	益 子	4	89.00	85.88	28	28	0	0	0	0	0	0
	真 岡 西	4	93.50	89.02	35	36	0	0	3	2	1	4
	し も つ け	4	96.88	95.31	32	33	0	0	1	0	1	7

分区	クラブ名	例 回数	12月出席率		会 員 数							
			今月	平均	7月 1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性 会 員
第5グループ	小 山	4	97.10	96.71	34	34	0	0	1	1	0	0
	小 山 南	4	95.00	97.95	21	21	0	0	0	0	0	4
	小 山 東	4	87.50	86.74	30	30	0	0	0	0	0	0
	小 山 北	4	90.00	85.43	20	20	0	0	0	0	0	0
	小 山 中 央	4	82.00	82.17	26	28	1	0	2	0	2	2
第6グループ	栃 木	4	75.90	68.56	37	37	0	0	0	0	0	1
	栃 木 西	3	91.67	74.77	29	29	0	0	0	0	0	0
	壬 生	3	98.15	91.29	16	18	1	0	2	0	2	1
	栃 木 南	4	95.00	89.00	27	33	0	0	6	0	6	7
第7グループ	日 光	4	72.72	73.52	22	22	0	0	0	0	0	5
	鹿 沼	3	88.19	84.89	62	61	0	0	0	1	-1	1
	今 市	4	85.72	85.17	40	43	1	0	3	0	3	0
	鹿 沼 東	4	88.42	75.28	39	39	0	1	1	1	0	4
	栗 野 西 方	3	93.00	94.42	10	10	0	0	0	0	0	1
	鹿 沼 中 央	4	92.05	85.92	22	22	0	0	0	0	0	1
第8グループ	今 市 き ぬ	3	77.77	93.06	28	28	0	2	3	3	0	1
	足 利	3	80.94	84.08	22	29	0	0	7	0	7	0
	足 利 東	3	74.21	78.47	53	52	0	1	1	2	-1	6
	足 利 西	3	86.27	83.14	16	16	0	0	0	0	0	0
第9グループ	足 利 わ た ら せ	4	90.11	90.78	32	32	0	0	0	0	0	0
	佐 野	4	88.30	89.82	67	68	0	0	2	1	1	0
	葛 生	3	95.70	92.55	33	35	1	0	2	0	2	0
	田 沼	4	89.52	91.00	38	39	0	0	1	0	1	0
	佐 野 東	4	72.62	86.30	22	21	0	0	0	1	-1	0
	岩 舟	3	88.50	84.97	8	8	0	0	0	0	0	0
	5 1 R C		85.58	85.12	1680	1713	6	16	68	35	33	71

ハイライトよねやま

★ ハイライトよねやま 178号 ★

2015年1月13日発行

今月のトピックス

- 寄付金速報 — 2015年もよろしく願います —
- 第2代よねやま親善大使を大募集！
- 台湾米山学友会総会が開催されました
- タイ米山学友会の奉仕活動 — 児童養護施設を訪問 —
- 今年の年賀状は現役奨学生がデザイン

【おしらせ】

- ご寄付の確定申告用領収書について
～1月末日までにクラブへお届けします～

《今月のピックアップ記事》

第2代よねやま親善大使を大募集！

「よねやま親善大使」は、日本全国のロータリー地区・クラブからの要請に応じて、地区大会・セミナー・例会などに参加し、元米山奨学生を代表してロータリアンへ米山記念奨学事業の意義と感謝を伝えたり、自身の活躍を紹介する活動をしています。

このたび、「第2代」よねやま親善大使として、事業のPRをお手伝いしてくださる方を大募集します！対象となるのは日本国内在住の米山学友で、任期は2015年7月からの2年間。応募締切は2月15日（当会必着）です。

詳しくは、当会ホームページをご覧ください。

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

お世話いただいた学友にふさわしい方がいれば、ぜひご推薦をお願いいたします！

（学友ご本人からの応募が必要です）

そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。

http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight178_pdf.pdf

コーディネーターニュース 3月号

(2015 年 2 月 3 日配信)

第3ゾーン・RC 補佐 大之木 精二

「第3ゾーン・ロータリー戦略計画推進セミナー」報告

◎ 第3ゾーンでは昨年10月に、杉谷RI理事ご出席のもと下記日程により標題通りのセミナーを開催しましたので、その概要を報告致します。

- (1) 日 時：2014年10月11日（土）11：00～16：00
- (2) 場 所：広島市
- (3) 対 象：DG・GE・GN・AG・地区関係委員長
- (4) テーマ：地区・クラブにおける戦略計画の推進及び会員基盤の充実と
公共イメージの向上
- (5) 出 席：60名（ゾーン関係者共）

◎ グループ6卓によるテーマ別討議を行い、最後にグループ毎報告が為されましたので、その意見集約を次の通り記述します。

【ロータリー戦略計画】

- 地区・クラブにおける当該委員会の設置は精々2割程度で、それも十分機能しているとは言えない。
- クラブの強化に戦略計画は最良の指針となり、増強も公共イメージ向上も強いクラブがあってこそ可能との観点より、先ずは地区戦略計画（委）の指導力を高めクラブの戦略計画推進に尽力する。
- 地区・クラブ共中長期構想の確立が必然であり、その為にも現行の単年度制に拘泥しない自主的な継続的発想が望まれ、年度毎の執行部との調整の巧拙が問われる。
- 関連的にCLPの実施状況が話題となり、組織の簡略化や運営の効率化を重視することに傾斜して、本来の主旨が十分に生かされていないとの危惧がある。地区はこの点についての適切な指導を行うべきである。

【増強・会員維持・公共イメージの向上】

- 昨今人数に執着する余り、増強の真意（クラブ強化）の視点が欠けている傾向がある。
- 全国一律の数値目標を示したり常套的手法を奨励するのは如何なものか。
- クラブの敷居を低くして先ず入会を認め、クラブに馴染ませる環境作りとロータリー教育の着実な実施が肝要である。
- ロータリーに入会して良かったとのロータリーモメントに多く接する機会を、既存会員共々に提供することが会員維持に有効である。
- 既存会員が更なるロータリー学習と実践を深めて高質のロータリアンになって初めて、増強への情熱が湧き腰を据えた活動に繋がる。
- 人口減少の社会構造変化に対応してクラブ単位の増強に拘わらず、クラブ合併による基盤強化も積極的に検討すべきである。
- Eクラブ・衛星クラブの設立を強力に推進する。
- 増強も公共イメージの向上も、クラブの強化がその必須条件である。

以上

文庫通信

(329号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

職業奉仕について

◎「アーサー・フレデリック・シェルドンの生涯とその学説の特質についてー純粹理論の立場から」

小堀憲助

2009 54p

(純粹ロータリー理論からみたロータリーの経営哲学)

◎「職業奉仕を考える」

田中作次

2014 3p (D.2770 月信)

◎「職業奉仕は日本が元祖 土屋元作」

塚原房樹

2014 1p (D.2510 月信)

◎「『職業奉仕』知る (to know) と成る (to be)」

塚原房樹

2014 1p (D.2510 月信)

◎「職業奉仕月間によせて」

池田徳博

2014 1p (D.2800 月信)

◎「てんびんの詩」

久野 薫

2014 1p (D.2680 月信)

◎「ロータリーの目的」

久野 薫

2014 1p (D.2680 月信)

◎「職業奉仕とは」

深川純一

尾道・尾道東 RC

2014 20p

[上記申込先：ロータリー文庫]

◎「超入門 職業奉仕の入口」

村井總一郎

2014 36p

[申込先：早川和男 FAX(052)783-3818]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日



ロータリーレート / 1 \$ = 118円

国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒320-0826 宇都宮市西原町142

宇都宮グランドホテル内

TEL 028-651-2550 FAX 028-651-2551

E-mail m2550@agate.plala.or.jp URL <http://www.rid2550.com/>

※各ロータリークラブでお知らせしたい情報がありましたら、事務局まで原稿をお寄せください。